

大阪信愛学院短期大学の教育

■建学の精神

カトリック精神に基づき、キリストに信頼し、愛の実践を生きることを建学の精神とする。

■学院標語

「一つの心、一つの魂」

■信愛教育5つの柱

- (1) キリストの教えに根ざした教育
- (2) 一人ひとりを大切にす教育
- (3) 能力の開発を目指す教育
- (4) 自己形成を促す教育
- (5) 社会貢献への態度を形成する教育

■大阪信愛学院短期大学の目的(学則)

本学は、教育基本法(平成18年法律第120号)及び学校教育法(昭和22年法律第26号)の下に、カトリック精神に基づき、キリストに信頼し、愛の実践を生きることを建学の精神とし、建学の精神に従って豊かな心を養うと共に物事を正しく判断して行動し、すすんで社会に貢献できる有為な女性を育成することを目的とする。

■学科の目的

○子ども教育学科

建学の精神に則り、現代社会の要請に応じた知識と実践力を身につけた、心豊かな保育者・教育者の養成を目的とする。

○看護学科

建学の精神に則り、幅広い教養と豊かな人間性を備え、患者の視点に立った質の高い看護が提供できる看護師の育成を目的とする。

■大阪信愛学院短期大学ディプロマポリシー

本学の目的および各学科の教育目的に沿って設定した授業科目の履修において、基準となる単位数を修得することを学位「短期大学士」授与の要件とする。授与された学位は、建学の精神に基づき、豊かな心並びに各学科における専門性を備え、物事を正しく判断して行動し、すすんで社会に貢献できる有為な女性として養成されたものであることを証明するものである。

■子ども教育学科ディプロマポリシー

子ども教育学科の教育目的に沿って設定した授業科目の履修において、入学後2年以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得した者について、保育者・教育者として必要な専門的知識と実践力を身につけ、かつ建学の精神に基づく心豊かな人間性を備え、現代社会の要請に応じた保育や教育を行うことのできる能力を有するものと認め、卒業を認定し、学位「短期大学士(初等教育)」を授与する。

■看護学科ディプロマポリシー

看護学科の教育目的に沿って設定した授業科目の履修において、入学後3年以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得した者について、看護師として必要な専門的知識と技術、実践力を身につけ、かつ建学の精神に基づく幅広い教養と豊かな人間性を備え、患者の視点に立った質の高い看護が提供できる能力を有するものと認め、卒業を認定し、学位「短期大学士（看護）」を授与する。

■子ども教育学科カリキュラムポリシー

本学の子ども教育学科の目的に従って、下記に挙げる教育を行うために必要な科目を設定する。

- (1) キリスト教的精神に基づく豊かな人間性と幅広い教養を身につける教育
- (2) 児童期・乳幼児期における教育・保育の重要性を理解させる教育
- (3) 児童期・乳幼児期の発育・発達についての理解を高める教育
- (4) 教育・保育現場で必要とされる知識技能・実践力を身につける教育
- (5) コミュニケーション能力を身につける教育
- (6) 教育・保育を通して福祉・地域社会に貢献できる女性を育成する教育

■看護学科カリキュラムポリシー

保健師助産師看護師学校養成所指定規則第四条三項に定める教育内容を満たし、かつ、本学の看護学科の目的に従って、下記に挙げる教育を行うために必要な科目を設定する。

- (1) キリスト教的精神に基づく豊かな人間性と幅広い教養を身につける教育
- (2) 人間理解とこころのケアを行う教育
- (3) 看護の専門を学ぶ上での基礎的な力を身につける教育
- (4) 看護の専門的知識と技術の習得と実践力を養う教育
- (5) 福祉や地域社会など幅広い分野で活躍できる力を養う教育
- (6) 自己学習能力を身につける教育

■子ども教育学科アドミッションポリシー

- ・ 乳幼児の保育、児童の教育に強い関心があり、情熱を持っている人
- ・ 保育者・教育者をめざしている、明朗で快活な人
- ・ 学習意欲と将来への展望を持っている人
- ・ 保育者・教育者になるために必要な基礎学力を有する人

■看護学科アドミッションポリシー

- ・ 将来、看護師として、医療や地域社会の福祉に貢献することを目指す人
- ・ 意欲的に学習し、努力を惜しまない人
- ・ 明るくほがらかで、人と積極的に関わることのできる人
- ・ 看護師になるために必要な基礎学力を有する人